

貸借対照表

(平成26年3月31日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	1,147,737	流 動 負 債	2,309,885
現金及び預金	39,052	買 掛 金	253,781
売 掛 金	490,492	短 期 借 入 金	510,000
未 収 入 金	328,081	未 払 金	655,611
短 期 貸 付 金	28,662	リ ー ス 債 務	37,768
商 品 及 び 製 品	11,609	未 払 費 用	44,011
原 材 料 及 び 貯 蔵 品	37,832	未 払 法 人 税 等	65,681
前 払 費 用	86,608	未 払 消 費 税 等	23,309
繰 延 税 金 資 産	120,657	賞 与 引 当 金	259,916
そ の 他 流 動 資 産	4,741	預 り 金	61,655
固 定 資 産	11,547,488	前 受 金	184,447
有 形 固 定 資 産	11,031,513	1年以内返済預り保証金	210,107
建 物	3,882,501	そ の 他 流 動 負 債	3,596
構 築 物	125,439	固 定 負 債	3,325,621
機 械 装 置	25,192	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	63,876
車 両 及 び 運 搬 具	1,542,449	退 職 給 付 引 当 金	914,284
工 具 器 具 備 品	52,389	リ ー ス 債 務	320,379
土 地	5,052,276	預 り 敷 金	474,248
建 設 仮 勘 定	2,887	預 り 保 証 金	1,552,832
リ ー ス 資 産	348,377	負 債 合 計	5,635,507
無 形 固 定 資 産	78,122	純 資 産 の 部	
電 話 加 入 権	952	株 主 資 本	7,059,718
ソ フ ト ウ ェ ア	68,373	資 本 金	3,000,000
建 設 仮 勘 定	8,796	資 本 剰 余 金	3,000,000
投 資 そ の 他 の 資 産	437,852	資 本 準 備 金	3,000,000
差 入 保 証 金	10,378	利 益 剰 余 金	1,059,718
長 期 前 払 費 用	2,946	そ の 他 利 益 剰 余 金	1,059,718
繰 延 税 金 資 産	399,976	特 別 償 却 準 備 金	3,755
そ の 他 投 資	24,551	繰 越 利 益 剰 余 金	1,055,962
資 産 合 計	12,695,225	純 資 産 合 計	7,059,718
		負 債 ・ 純 資 産 合 計	12,695,225

損 益 計 算 書

平成25年 4月 1日から
平成26年 3月31日まで

(単位：千円)

科 目	金 額
売 上 高	7,999,689
売 上 原 価	6,966,327
売 上 総 利 益	1,033,361
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	658,852
営 業 利 益	374,508
営 業 外 収 益	
受 取 利 息	94
そ の 他 営 業 外 収 益	12,348
営 業 外 費 用	
支 払 利 息	42,875
雑 損 失	104
経 常 利 益	343,972
特 別 利 益	
補 助 金 等	332,484
固 定 資 産 売 却 益	13,458
特 別 損 失	
固 定 資 産 売 除 却 損	12,350
固 定 資 産 圧 縮 損	327,819
固 定 資 産 除 却 工 事 費	20,541
税 引 前 当 期 純 利 益	329,205
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	193,567
法 人 税 等 調 整 額	△34,530
当 期 純 利 益	170,168

個別注記表

平成25年4月1日から
平成26年3月31日まで

I 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券 時価のないもの 移動平均法による原価法

2 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産の評価基準及び評価方法

貸借対照表価額は、原価法（収益性の低下による簿価切り下げの方法）によっております。

①貯蔵品のうちバス給油地下タンクの軽油及び灯油 総平均法による原価法

②上記以外の貯蔵品及び商品 最終仕入原価法

3 固定資産の減価償却の方法

（1）有形固定資産

①リース資産以外の有形固定資産 定率法

ただし、建物、建物附属設備、車両及び運搬具は定額法を採用しております。

また、少額減価償却資産（10万円以上20万円未満）は、一括して3年間で均等償却する方法を採用しております。

②リース資産 残存価額を零とするリース期間定額法

なお、主なリース期間は5年です。

（2）無形固定資産 定額法

ただし、自社利用のソフトウェアにつきましては、社内における見込利用可能期間（5年）に基づく定額法を採用しております。

4 引当金の計上基準

（1）貸倒引当金

債権の貸倒損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

なお、当事業年度の繰入額はありません。

（2）賞与引当金

従業員賞与の支給にあてるため、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上しております。

（3）退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当事業年度末において発生していると認められる額を計上しております。

なお、数理計算上の差異は、その発生時の従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数（10年）による定額法により、それぞれ発生の翌事業年度から費用処理しております。

（4）役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、規程に基づく当事業年度末要支給額を計上しております。

5 会計上の見積もりの変更に関する注記

(1) 営業用自動車

当社の営業用自動車の老朽取替は新車、中古車をそれぞれ半数ずつとしていましたが、当事業年度から新車だけの調達方法に変更した結果、新車と中古車の構成割合が変わったことを契機に、その使用可能年数を見直したところ、従来は5年としておりましたが当事業年度から10年に変更しております。これにより従来の方法に比べ、当事業年度の減価償却費が262,552千円減少し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ同額増加しております。

(2) 本社及び整備センター建物等

本社及び整備センターに係る建物等の使用期間が明らかになったことから、使用残月数での償却期間に変更しております。これにより従来の方法に比べ、当事業年度の減価償却費が26,006千円増加し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益がそれぞれ同額減少しております。

6 その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

(1) 消費税等の処理方法

消費税等の会計処理は、税抜方式を採用しております。

(2) 連結納税制度の適用

連結納税制度を適用しております。

II 貸借対照表に関する注記

1 担保に供している資産

(1) イオン㈱から預かった敷金及び建設協力金を担保するため、当社が保有する土地及び建物に極度額3,532,515千円の根抵当権を登記しております。

(2) 担保に供している固定資産

土地	1,273,917千円
建物	3,432,414千円
構築物	53,761千円
工具器具備品	8,219千円
合 計	4,768,312千円

(3) 担保権によって担保されている債務

敷金	450,000千円
保証金	1,644,008千円
合 計	2,094,008千円

2 有形固定資産の減価償却累計額 8,699,938千円

3 固定資産の取得原価から直接減額された国庫補助金等累計額 1,144,672千円

4 関係会社に対する金銭債権債務

短期金銭債権 49,626千円

短期金銭債務 144,247千円

III 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、賞与引当金、退職給付引当金の否認等であります。

(追加情報)

「地方税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第4号)、「所得税法等の一部を改正する法律」(平成26年法律第10号)及び「地方法人税法」(平成26年法律第11号)が平成26年3月31日に公布されております。これに伴い、平成26年度4月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異につ

いては、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用される法定実効税率が、従来の37.7%から35.3%に変更されております。

この税率変更に伴い、繰延税金資産の金額（繰延税金負債の金額を控除した金額）が9,544千円減少し、法人税等調整額が9,544千円、特別償却準備金が92千円それぞれ増加しております。

IV 関連当事者との取引に関する注記

1 親会社の子会社

属性	会社等の名称	議決権等の所有（被所有）割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額（千円）	科目	期末残高（千円）
親会社の子会社	(株)北海道ジェイ・アール商事	—	金銭消費貸借契約の締結	資金の借入	337,500	短期借入金	510,000
				利息の支払	2,227	—	—

取引条件及び取引条件の決定方針等

注) 当社ではグループ内の資金を一元管理するキャッシュ・マネジメント・システム（以下CMS）に参加しており、(株)北海道ジェイ・アール商事が当該システム統括会社となっております。取引金額は日常反復的に発生するため、期中平均残高を記載しております。なお、利息については包括的金銭消費貸借契約書によっております。

V 一株当たり情報に関する注記

1 一株当たりの純資産額	117,661円97銭
2 一株当たりの当期純利益	2,836円14銭

VI その他の注記

貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表に記載されている金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。